

国土交通省中部地方整備局

静岡国道事務所

事務所長

椎野 修 様

要望書

国道1号 南安倍～佐渡間の道路機能強化について



(手越原交差点から東を望む)

令和7年11月



静岡市内の主要な東西軸である国道1号は、広域交通を担う静清バイパスと、地区内拠点へのアクセスを担う現道区間に機能分担が図られ、静岡市の重要な骨格道路として、地域経済・産業の発展を支えています。

また、静清バイパスでは全線立体化に向け、唯一の平面区間である清水立体事業の整備が進められており、道路ネットワーク強化の着実な推進に深く感謝申し上げます。

一方で、国道1号現道の駿河大橋周辺においては、依然として日交通量が約3万台あり、交通容量が著しく不足しているのが現状です。

さらに、令和7年3月1日のリバーシブルレーン廃止以降は、車線減少の影響により、特に朝夕の通勤・帰宅時間帯を中心に大規模な渋滞が日常的に発生しております。

加えて、混雑回避を目的とした車両が生活道路へ流入し、周辺道路にも影響が及んでいるほか、事故の危険性が高まるなど、安全面においても極めて深刻な状況となっていることから、現道区間の道路機能について抜本的な強化が必要です。

つきましては、交通の円滑化および安全性の確保を図るため、下記事項について強く要望申し上げます。

記

1. 国道1号 南安倍～佐渡間の道路機能強化

以上

令和7年11月11日

自由民主党静岡市議会議員団

会長 繁田 和



< 位置図 >



< 状況写真 >

【通勤時間帯】

【帰宅時間帯】



(写真①_佐渡交差点付近から東を望む)

(写真③_手越原交差点から東を望む)



(写真②_佐渡交差点付近から西を望む)

(写真④_南安倍交差点から西を望む)